

所属	看護医療学部看護学科	職位	准教授	氏名 (学位)	工藤安史 博士(医学) 修士(経済学)	
所属 学会	日本公衆衛生学会 日本産業衛生学会 日本総合健診医学会 日本産業看護学会 など					
専門 領域	医療経済学 公衆衛生学 疫学・保健統計学					
研究テ ーマ	看護マネージメント 産業保健の円滑化 医療系の科目等に関する教育手法					
I 主な教育活動						
教育実践上の主な実績						
1 教育・内容の 工夫(授業評価等 を含む)	担当科目に関する様々なテーマ(例えば、疫学、保健統計、母子保健、感染症、産業保健、地域保健、食品衛生、国際保健など)について、講義用のレジメを独自に作成している。医療系の学生の場合、国家試験に合格する必要があるため、様々な専門職の国家試験の過去問を参考にして、練習問題を作成し、レジメに組み込んでいる。					
2 作成した教 科書、教材、参考 書	<p>「地域包括ケアシステムのすすめ これからの保健・医療・福祉」における「第2章の1 統計からみた日本の人口構成の推移」の執筆を担当。ミネルヴァ書房 2016年出版 p.29-32</p> <p>「ストレス百科事典」のうち、次のテーマを翻訳。「失業、ストレスおよび健康 (p.1134-1139)」および「ワーク・ライフ・バランス (p.2803-2805)」、丸善出版、2010年出版</p>					
3 教育方法・教 育実践に関する 発表、講演等	看護学生および医学部生を対象に、学生の学ぶ意欲や倫理観を高めるための調査を実施し、得られた知見を論文にすることで、社会に還元している。これらの論文は、全てインパクトファクターを有する国際学術誌に掲載されていることから、世界中の大学教員に向けて情報を発信している。					
4 その他教育 上特記すべき事 項	本学のキャリア支援委員会(国家試験対策や就職対策などを推進する委員会)の委員として、成績不良者への面談や補講講義を行い、学生の学習意欲の向上や学力向上のための活動に力を入れている。					
II 主な研究活動						
種別	著書・論文等の名称	単著 共著	発行年 月	発行所、発表雑 誌(および巻・ 号)	編者・著者名 (共著の場合 のみ記入)	頁数
1. 学術 論文	Predictors of Desiring to be Helpful to Professional Nurses Among Japanese Nursing Assistants in Small- to Medium-Sized Hospitals	共著	2016年 6月	Journal of UOEH, 38	Kudo Y, Kono K, Toyoshima Y, Sugisaki H, Matsuhashi A, Tsutsumi A.	119-128
2. 学術 論文	Pilot Study Testing Associations Between Health Behaviors and Decline in Work Motivation Due to Poor Health Among Japanese Workers	共著	2016年 7月	Journal of Japan Academy of Occupational Health Nursing, 3	Kudo Y, Kono K, Miwa Y, Ohata T, Tsutsumi A	8-15

種別	著書・論文等の名称	単著 共著	発行年月	発行所、発表雑誌（および巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	頁数
3. 学術論文	Feelings about Nursing Assistants that Enhance the Work Motivation of Japanese Registered Nurses and Licensed Practical Nurses	共著	2017年 12月	Journal of UOEH, 39	<u>Kudo Y</u> , Kono K, Kume R, Matsuhashi A, and Tsutsumi A	259-269.
4 学術論文	Predictors of female registered nurses' interest in enrolling in master's programs of nursing graduate schools in Japan	共著	2019年5 月	Journal of Rural Medicine, 14	Toyoda T, <u>Kudo Y</u> , Hagi N, Toyoshima Y, Kono K	26-35
5 学術論文	Job satisfaction and intention to remain on the job among Japanese nursing assistants	共著	2019年11 月	Journal of Rural Medicine, 14	<u>Kudo Y</u> , Toyoda T, Terao R, Suzuki S, Tsutsumi A	181-190
紙面が限られているため、近年の研究業績のうち、一部を掲載している。						

III 主な学会活動

発表(報告)名等	単独 共同	発表年月	学会名等
Competencies of occupational health nurses in Japan	共著	2018年5 月	The 32th ICOH International Congress , Dublin, Hatanaka J, Kono K, <u>Kudo Y</u> , Goto Y, Nakagami K

IV 社会における主な活動

活動期間	活動内容等
2015年度から	四日市看護医療大学看護医療交流センターの事業として、統計セミナーの講師を担当している。2015年度から毎年、1回から2回の頻度で、学内で統計セミナーを実施している。また、2017年度からは、病院に出張し、統計セミナーを実施している。2019年度の出張形式での活動実績として、11病院でセミナーを実施した。但し、2020年度は新型コロナ感染症の影響で、ズームにて統計学セミナーを3回シリーズで実施した。このセミナーには、延べ数で約350名が参加した。